

IBARAKI ドリーム・パス事業 第4回プレゼンテーション大会 「IBARAKI ドリーム パス AWARD」の開催について

1 趣旨・目的

高校生等を対象に、企画立案・実践活動をとおして、アントレプレナーシップの育成を図る「IBARAKI ドリーム・パス事業」では、約4か月にわたり自分の夢実現や地域の課題解決に向けて取り組んだ実践活動の成果をプレゼンテーションする標記大会を開催する。

今年度はこれまでで最も多い273件(R1:25件、R2:104件、R3:190件)の応募があり、選出された16チームが活動資金の援助や大学生等コーチによるサポートを受けながら、どのように実践を重ねてきたかを発表し、審査の上、グランプリを決定する。

また今年度は新たに、大会後も継続して活動に臨む意欲を高めてもらえるよう、昨年度入賞したチームによる継続活動状況の発表を行う。

2 大会までの活動内容

(時期) (内容)

令和4年

5月～8月 スタートアップチャレンジ講座

10月16日(日) STEP1「実践活動事前ガイダンス」

11月23日(水) STEP2「企画ブラッシュアップ」

令和5年

1月15日(日) STEP3「中間報告会」

3 大会概要

・日 時	令和5年2月18日(土)10:00～17:00
・会 場	茨城県県南生涯学習センター 多目的ホール
・日 程	10:00 開会 10:20 16チーム(別紙)のプレゼンテーション(発表7分、質疑応答5分) 15:05 昨年度入賞チームによる継続活動事例発表 15:25 審査 16:25 結果発表、表彰、講評
・審査員	県教育長、県教育委員、有識者等
・表彰	総合グランプリ及び各賞表彰(副賞として、活動資金を贈呈)

4 その他

生徒たちが大会終了後も活動を継続できるよう、大会をご覧いただいた県内企業や市町村行政等からご支援の提案をいただくことで、マッチングを図る。

【本資料の詳細についてのお問い合わせ先】

茨城県教育庁総務企画部生涯学習課 振興担当 河野真希枝 電話 029-301-5318(直通)

	学校名	学年	企画名	概要
1	銚田第一高等学校 附属中学校	中2	北浦の在来種を増やすには～水路にRiverBoxを設置して在来種を増やそう～	在来魚と外来魚が共存できる環境を整えるために、北浦水域の水路に小型漁礁 (RiverBox) を設置する。
2	大子清流高等学校	1,2	どこでもかご ～地域を救うWOODなボックス～	大子産木材を活用した形状を自在に変化させられる「かご」を製造・販売することで、大子町での雇用の創出・エコシステムの形成を目指す。
3	常陸大宮高等学校	3	「IBARAKI投資カフェ&6次化ダイニング」～金融機関と連携した茨城から最先端の金融教育と美味しさの発信～	金融教育を学びながら茨城の食についても発信できるスペースを作るため、空き店舗を活用した投資カフェと茨城の食を楽しむ6次化ダイニング等を作り、民間企業と合同で運用する。
4	緑岡高等学校	2	移動可能な緑地を作る	ヒートアイランド現象や地球温暖化の解消のため、軽量化土壌を移動可能なサイズでパッキングし、その中で植物を育てる「移動可能な緑地」の実現を目指す。
5	水戸農業高等学校	2,3	私たちのつくる未来のカタチ～農業の未来を変える「儲かる農業」を目指して 会社設立～	農業を「儲かる」「稼げる」「安定している」産業にし、高校生が農業をやりたいと思える、地域を巻き込んで元気な明るい未来をつくるため、会社を設立する。
6	勝田高等学校 勝田中等教育学校	2 中2	いらないなんて言わせない～コーヒーかすの可能性～	廃棄されるコーヒーかすを使い、高齢者や子供が口にしても安全な脱臭剤を開発する。
7	海洋高等学校	2	色覚異常の方にも区別しやすいランプの開発、研究	だれでも取りたい資格・就きたい職業に挑戦できる世の中の実現を目指し、色覚異常の方でも識別しやすいランプを開発する。
8	波崎柳川高等学校	2	避難所における外国人住民へ私たちができる最善の支援方法とは？	避難所生活において、外国人住民のみならず避難者が適切な支援をスムーズに受けられるようにするため、ピクトグラムカードなどを制作する。
9	竹園高等学校	2	垂直軸型風車の発電効率を改良する～日本の風に最適な風車のカタチとは～	垂直軸サボニウス型風車の発電効率を上げるために、主に風車のギア比を変えたときの特定風速下における発電量を調べ、風力発電のデメリット解消を目指す。
10	竹園高等学校	2	バナナバイオエタノール～環境保全と経済活性化の両立を目指して～	環境負荷の軽減や経済の活性化等を目指し、バナナの茎(偽茎)を主原料としてバイオエタノールを製造する。
11	つくば工科高等学校	2	ソーラーパネルメンテナンスロボット～宇宙大航海時代を目指して～	再生可能エネルギーを安定供給できる未来を目指し、ソーラーパネルを自動でメンテナンスするロボットを開発する。
12	つくば工科高等学校	2	霞ヶ浦で泳ぎたい！～水中探査で豊かな未来を～	湖水浴場の復活を目指し環境産業の拡大につなげるため、水面下の環境計測だけでなく、特定外来生物の分布データを取得し、水中を移動できるロボットを開発する。
13	つくば工科高等学校	3	『畑の平和を守るロボット雑草三兄弟』農業をロボットでサポートしたい！除草ロボットの研究	自律型雑草除去ロボットの研究と実機モデルの製作を通して、茨城におけるスマート農業の可能性を探る。
14	つくば工科高等学校	3	看護師に救いの手を～あなたのとなりにバイタルサイン～	看護師と患者の負担を軽減するために、車いすに座るだけでバイタルサイン(脈拍、呼吸、体温、血圧)測定できる器具を開発する。
15	石下紫峰高等学校	2	International Language for 幼稚園児	日本語をほとんど話せない外国籍の子どもが幼稚園生活により早く慣れるようにするため、幼稚園児や幼稚園の先生とのコミュニケーションの支援策を企画する。
16	水海道第一高等学校	1	ENGLISH SURVIVAL CAMP ～英語で話さないで生きていけないキャンプ!?～	英語の学習意欲を高めるため、英語をコミュニケーションツールとしたキャンプの仕掛けを考案し、楽しく学べる英語学習プログラムを開発する。

2/18(土)
LIVE配信を
行います!

令和5年2月18日(土)
10:00~17:00

【日程】

10:00 開会

10:20 第1部

- ①県立竹園高校
- ②県立鉾田第一高校附属中学校
- ③県立水戸農業高校
- ④県立つくば工科高校
- ⑤県立海洋高校
- ⑥県立水海道第一高校

12:40 第2部

- ⑦県立緑岡高校
- ⑧県立大子清流高校
- ⑨県立つくば工科高校
- ⑩県立波崎柳川高校
- ⑪県立つくば工科高校

14:00 第3部

- ⑫県立常陸大宮高校
- ⑬県立つくば工科高校
- ⑭県立竹園高校
- ⑮県立石下紫峰高校
- ⑯県立勝田高校・中等教育学校

【継続活動事例発表】

県立勝田高等学校
(令和3年度銀賞受賞チーム)

16:25 結果発表

17:00 閉会

16の戦略チームが
実践活動の成果を発表する

IBARAKI ドリーム★パス AWARD

を開催します!

プレゼンテーション大会「IBARAKIドリーム★パスAWARD」では、
各チームの ・7分間のプレゼンテーション
・5分間の質疑応答 を審査し、各賞を決定します。

【賞/副賞】 総合グランプリ/50万円(1本)、金賞/30万円(2本)
銀賞/15万円(2本)、銅賞/10万円(2本)

※活動資金として授与

ライブ配信のお申し込みはこちらから



いばらき電子申請・届出サービス
「IBARAKIドリーム★パスAWARD
ライブ配信観覧申し込み」

<https://onl.tw/1QQ3j6p>

応援してね!



IBARAKIドリーム・パスとは?

・高校生等を対象に、地域課題の解決や自分の夢実現に向けた
企画立案・実践活動をとおして、高い創造意欲と、リスクに対して
積極的に挑戦できる力、**アントレプレナーシップ(起業家精神)**を
育成することを目的に、令和元年度から
実施しています。

・大学生や研究者が高校生等の実践活動
をサポートをするとともに、地元
企業や関係機関等からご支援を
いただいています。

各チームのテーマや
事業詳細は県教委HPを
ご覧ください!



<https://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/syogai/dreampass/index.html>

【後援】NHK水戸放送局 株式会社茨城新聞社 株式会社茨城放送
【寄附企業】イオンリテール株式会社
【協賛企業】茨城県農業協同組合中央会 茨城県ヤクルト協会 茨城トヨペット株式会社 株式会社カスミ
株式会社常陽銀行 株式会社筑波銀行 株式会社坂東太郎 株式会社廣澤精機製作所
株式会社ユードム 関彰商事株式会社 トモエ乳業株式会社(五十音順)

〈お問い合わせ〉
茨城県教育庁総務企画部生涯学習課 029-301-5318 shogaku1@pref.ibaraki.lg.jp

主催  茨城県教育委員会
Ibaraki Prefectural Board of Education